

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013801 - 0005

作業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年11月7日		(水)	8:00		承認	審査	作成
	作業件名	1F 4m盤エリア排水設備工事							
	発生場所	1~4号機周辺						2018/10/18	2018/10/16
	作業主管G	地下水調査グループ				監理員		TEL	
	元請会社					担当者		TEL	
	線量測定年月日	2018/10/8	測定者			測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-360
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
		①	②	③					
1	保温材(ウレタン系)	B	06	D	B	2 m ²	50 μSv/h	50 μSv/h	無
2						m ²			
3						m ²			
4						m ²			
5						m ²			

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	11	—	0009
				2018/10/18
調整後保管日時		2018年11月7日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年11月7日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-042
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	保温材(ウレタン系) ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2018/11/7 8:00	2 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテ ゴリ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013801 - 0005

作 業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年11月7日		(水)	10:30	承認	審査	作成	
	作業件名	1F 4m盤エリア排水設備工事							
	発生場所	1~4号機周辺					2018/10/18	2018/10/16	2018/10/16
	作業主管G	地下水調査グループ			監理員		TEL		
	元請会社				担当者		TEL		
	線量測定年月日	2018/10/8	測定者		測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-360	
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無
1	ケーブル類	B	08	D	B	2 m ²	50 μSv/h	50 μSv/h	無
2						m ²			
3						m ²			
4						m ²			
5						m ²			

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	11	—	0010
				2018/10/18
調整後保管日時		2018年11月7日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年11月7日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-042
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ケーブル類②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2018/11/7 10:20	0.5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」 B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0042

作業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2018年11月7日		(水)	10:00		承認	審査	作成
	作業件名	フランジ型タンク側板止水対策							
	発生場所	Dエリア西側						2018/10/22	2018/10/22
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員		TEL	
	元請会社					担当者		TEL	
	線量測定年月日	2018/10/22	測定者			測定器名	NaIシンチレーター	管理番号	F1-SC-080
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
	① ② ③								
1	保温材	B	06	D	B	5 m ²	0.008 mSv/h	0.008 mSv/h	無
2						m ²			
3						m ²			
4						m ²			
5						m ²			
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	11	—	0013
				2018/10/23
調整後保管日時		2018年11月7日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年11月7日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-042	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	保温材②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2018/11/7 9:55	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	D	伐 採 木	状 態		D:乾燥, W:湿気有		履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0011

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2018年11月7日		(水)	8:30		承認	審査	作成		
	作業件名	H6エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事									
	発生場所	H5タンクエリア						2018/10/29	2018/10/27		
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/10/22	測定者			測定器名	ICW-BL		管理番号		
	1F-ICWBL-14										
G 記 入 欄 メ モ	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③							
	1	コンクリートガラ	B	02	W	A	30 m ²	20 μSv/h	30 μSv/h	無	
	2						m ²				
	3						m ²				
	4						m ²				
5						m ²					
大型6台											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	11	—	0033
				2018/10/29
調整後保管日時		2018年11月7日		8:30
【保管時の指示事項等】				
当日の状況によって、受入れ台数を制限する場合があります。				

線量測定内容				
測定日	2018年11月7日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-111	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/11/7 8:15	5 m ²			1
	1	2	コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/11/7 8:20	5 m ²			1
	1	3	コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/11/7 8:25	5 m ²			1
	1	4	コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/11/7 8:55	5 m ²			1
	1	5	コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/11/7 9:10	5 m ²			1
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態		D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴		
						A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2018	—	11	—	0033

保管 実績 記録 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				5	$\mu\text{Sv/h}$	5	$\mu\text{Sv/h}$					5	m^3			
	1	6	コンクリートガラ ①	5	$\mu\text{Sv/h}$	5	$\mu\text{Sv/h}$			エリアC	2018/11/7 9:35	5	m^3			1
													m^3			
													m^3			
													m^3			
													m^3			
													m^3			
													m^3			
													m^3			
													m^3			
													m^3			
													m^3			
													m^3			
													m^3			
													m^3			
													m^3			
													m^3			
													m^3			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013803 - 0011		
作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年11月8日		(木)	8:30		承認	審査	作成			
	作業件名	H6エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事										
	発生場所	H5タンクエリア						2018/10/29	2018/10/27	2018/10/27		
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員			TEL			
	元請会社					担当者			TEL			
	線量測定年月日	2018/10/22	測定者			測定器名	ICW-BL		管理番号	1F-ICWBL-14		
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	コンクリートガラ			B	02	W	A	30 m ²	20 μ Sv/h	30 μ Sv/h	無
	2								m ²			
	3								m ²			
	4								m ²			
	5								m ²			
メ モ	大型6台											

線量測定内容				
測定日	2018年11月8日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-111	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/11/8 8:45	5 m ²			1
	1	2	コンクリートガラ ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/11/8 8:50	5 m ²			1
	1	3	コンクリートガラ ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/11/8 9:35	5 m ²			1
	1	4	コンクリートガラ ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/11/8 9:40	5 m ²			1
	1	5	コンクリートガラ ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/11/8 10:25	5 m ²			1

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業 主 管 G 記 入 欄	No.	保 管 物 名	※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率
			①	②	③								
	6					m ²							
	7					m ²							
	8					m ²							
	9					m ²							
	10					m ²							

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2018	—	11	—	0034

保管 実績 記録 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用／ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	6	コンクリートガラ ①	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h			エリアC	2018/11/8 10:30	5	m ³			1
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0011

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年11月9日		(金)	8:30	承認	審査	作成		
	作業件名	H6エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	H5タンクエリア					2018/10/29	2018/10/27	2018/10/27	
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2018/10/22	測定者		測定器名	ICW-BL	管理番号	1F-ICWBL-14		
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率		
1	コンクリートガラ	B	02	W	A	30 m ²	20 μ Sv/h	30 μ Sv/h	無	
2						m ²				
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
メ モ	大型6台									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	11	—	0035
				2018/10/29
調整後保管日時		2018年11月9日		8:30
【保管時の指示事項等】				
当日の状況によって、受入れ台数を制限する場合があります。				

線量測定内容			
測定日	2018年11月9日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-111
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/11/9 8:30	5 m ²			1
	1	2	コンクリートガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/11/9 8:40	5 m ²			1
	1	3	コンクリートガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/11/9 9:10	5 m ²			1
	1	4	コンクリートガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/11/9 9:15	5 m ²			1
	1	5	コンクリートガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/11/9 9:55	5 m ²			1
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	②	C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	③	D	状 態	D:乾燥, W:湿気有				
				履 歴				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業主 管 G 記 入 欄	No.	保 管 物 名	※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率
			①	②	③								
	6					m ²							
	7					m ²							
	8					m ²							
	9					m ²							
	10					m ²							

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2018	—	11	—	0035

保管 実績 記録 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用／ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	6	コンクリートガラ①	5	$\mu\text{Sv/h}$	5	$\mu\text{Sv/h}$			エリアC	2018/11/9 10:00	5	m ³			1
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013112 - 0005

固体廃棄物管理G記入欄

受付

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2018年11月7日	(水)	9:00	承認	審査	作成				
	作業件名	H1, 2エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事									
	発生場所	G1タンク盛土上			2018/10/29	2018/10/29	2018/10/29				
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員	TEL					
	元請会社				担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/10/29	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号				
							Fi-ICWBL-70				
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率				
			①	②	③			β・α 汚染の 有無			
								β + γ 線量率			
1	コンクリートガラ	B	02	D	B	15 m ³	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無		
2						m ³					
3						m ³					
4						m ³					
5						m ³					
・10tダンプ(5m3分)×3台=15m3 コンクリートガラ搬出します。											

受 付 番 号			
廃2018	—	11	— 0050
調整後保管日時			2018年11月7日 9:00
【保管時の指示事項等】			

線量測定内容			
測定日	2018年11月7日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	Fi-ICWBL-111
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/11/7 8:30	4 m ³			1
	1	2	コンクリートガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/11/7 8:35	4 m ³			1
	1	3	コンクリートガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/11/7 8:50	4 m ³			1
	1	4	コンクリートガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/11/7 9:20	4 m ³			1
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—	
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —		
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類	
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—	
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—	
				D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」・B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0023

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	11	—	0052
調整後保管日時				2018年11月9日 10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年11月9日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-111
2			
3			
4			

作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年11月9日		(金)	10:30	承認	審査	作成		
	作業件名	G6エリアタンクリプレイス関連工事								
	発生場所	H6北,H5,B,G6タンクエリア					2018/10/29	2018/10/29	2018/10/29	
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2018/10/29	測定者		測定器名	ICW(B)	管理番号	F1-ICWBL-72		
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
			①	②	③					
	1	6m3コンテナ(2018ZK-01609)	B	01	D	B	6 m ³	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	β 有 0.04 mSv/h
	2	6m3コンテナ(2018ZK-01606)	B	01	D	B	6 m ³	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	β 有 0.04 mSv/h
3	6m3コンテナ(2018ZK-01610)	B	01	D	B	6 m ³	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	β 有 0.04 mSv/h	
4	6m3コンテナ(2018ZK-01639)	B	01	D	B	6 m ³	0.002 mSv/h	0.2 mSv/h	β 有 20 mSv/h	
5	6m3コンテナ(2018ZK-01641)	B	01	D	B	6 m ³	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	β 有 0.3 mSv/h	
$\beta + \gamma$ 線量率は廃棄物表面線量を示す										

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	6m3コンテナ(2018ZK-01609)	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	固体庫9棟地上1階	2018/11/9 11:15	6 m ³		ZK-01609	1
	2	1	6m3コンテナ(2018ZK-01606)	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	固体庫9棟地上1階	2018/11/9 11:15	6 m ³		ZK-01606	1
	3	1	6m3コンテナ(2018ZK-01610)	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	固体庫9棟地上1階	2018/11/9 11:15	6 m ³		ZK-01606	1
	4	1	6m3コンテナ(2018ZK-01639)	5 μ Sv/h	250 μ Sv/h	250 μ Sv/h	固体庫9棟地上1階	2018/11/9 10:10	6 m ³		ZK-01639	1
	5	1	6m3コンテナ(2018ZK-01641)	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	固体庫9棟地上1階	2018/11/9 10:10	6 m ³		ZK-01641	1
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
	②	D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
				01 状態	D:乾燥, W:湿気有	③ 履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票 (別紙)

作業 主 管 G 記 入 欄	No.	保 管 物 名	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無 β 有	$\beta + \gamma$ 線量率	
			①		②	③								
	6	6m3コンテナ(2018ZK-01643)	B	01	D	B	6 m ³	0.002	mSv/h	0.002	mSv/h	β 有	0.002	mSv/h
	7					m ³								
	8					m ³								
	9					m ³								
	10					m ³								

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2018	—	11	—	0052

保管 実績 記録 記入 欄	No.		保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用／ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	6	1		5	μ Sv/h	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h			6	m ³			
			6m3コンテナ(2018ZK-01643)	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h	固体庫9棟地上1階	2018/11/9 10:10	6	m ³		ZK-01643	1
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・UES類		02 プラスチック・ホリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05 —	
				06 —		07 —		08 —		09 —		10 —	
		B	不燃物	01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類	
				06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他	
				11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13 —		14 —		15 —	
		C	難燃物	01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05 —	
		D	伐採木	01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05 —	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013213 - 0004

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年11月7日	(水)	11:00	承認	審査	作成													
	作業件名	1～3号機T/B下屋雨樋浄化材設置工事																		
	発生場所	1・2号機 T/B建屋			2018/10/29	2018/10/29	2018/10/29													
	作業主管G	建築水対策グループ		監理員		TEL														
	元請会社		担当者		TEL															
	線量測定年月日	2018/10/15	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号													
							F1-ICWBL-21													
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率											
		①	②	③																
		1	金属ガラ	B						01	D	B	3	m ²	0.002	mSv/h	0.008	mSv/h	無	
		2	配管	B						01	D	B	3	m ²	0.002	mSv/h	0.008	mSv/h	無	
		3	不燃シート	B						10	D	B	0.1	m ²	0.002	mSv/h	0.008	mSv/h	無	
		4	配管材	B						01	D	B	0.1	m ²	0.002	mSv/h	0.008	mSv/h	無	
5																				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	—	11	—	0053
				2018/10/30
調整後保管日時		2018年11月7日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年11月7日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-111	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2018/11/7 10:45	2 m ²			1
	2	1	配管②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2018/11/7 10:45	2 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —			
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —			
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類			
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他			
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —			
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —			
		D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —			
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013213 - 0004

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年11月7日		(水)	11:30		承認	審査	作成	
	作業件名	1～3号機T/B下屋雨樋浄化材設置工事								
	発生場所	3号機 T/B建屋						2018/10/29	2018/10/29	2018/10/29
	作業主管G	建築水対策グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/10/17	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-110
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
		①	②	③						
1	キムタオル、ウエス	A	01	D	B	1 m ²	0.008 mSv/h	0.25 mSv/h	β有	0.7 mSv/h
2	ダンボール	A	01	D	B	1 m ²	0.008 mSv/h	0.008 mSv/h	β有	0.03 mSv/h
3	ビニール	A	02	D	B	0.8 m ²	0.008 mSv/h	0.008 mSv/h	β有	0.065 mSv/h
4	トラロープ	A	02	D	B	0.2 m ²	0.008 mSv/h	0.008 mSv/h	β有	0.023 mSv/h
5						m ²				
メモ	現在トンパック詰め保管									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	11	—	0056
				2018/10/30
調整後保管日時		2018年11月7日		11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年11月7日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-111	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	キムタオル、ウエス	5 μSv/h	70 μSv/h	350 μSv/h	エリアW1	2018/11/7 10:50	1 m ²		ZK-01486	1
	2	1	ダンボール	5 μSv/h	5 μSv/h	45 μSv/h	エリアW1	2018/11/7 10:50	1 m ²		ZK-01486	1
	3	1	ビニール	5 μSv/h	5 μSv/h	60 μSv/h	エリアW1	2018/11/7 10:50	0.8 m ²		ZK-01486	1
	4	1	トラロープ	5 μSv/h	5 μSv/h	45 μSv/h	エリアW1	2018/11/7 10:50	0.2 m ²		ZK-01486	1
									m ²			
メモ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											
	上記保管物収納後の6m3コンテナ(ZK-01486)表面: BG=7 μSv/h, 表面線量率=400 μSv/h, β+γ線量率=400 μSv/h											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013203 - 0002

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年11月8日	(木)	11:00	承認	審査	作成													
	作業件名	汚染水タンク雨水対策(堰カバー)工事																		
	発生場所	各タンクエリア			2018/10/29	2018/10/29	2018/10/29													
	作業主管G	建築水対策グループ	監理員		TEL															
	元請会社		担当者		TEL															
	線量測定年月日	2018/10/19	測定者		測定器名	ICWBL($\beta + \gamma$)	管理番号	F1-ICWBL-128												
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率											
		①	②	③																
		1	不燃物(金属ガラ)	B						01	D	B	5	m ²	0.005	mSv/h	0.005	mSv/h	無	
		2											m ²							
		3											m ²							
		4											m ²							
5						m ²														

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	11	—	0057
				2018/10/30
調整後保管日時		2018年11月8日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年11月8日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-111
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃物(金属ガラ) ②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2018/11/8 10:40	4 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013213 -- 0004

作 業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年11月8日	(木)	11:00	承認	審査	作成				
	作業件名	1~3号機T/B下屋雨樋浄化材設置工事									
	発生場所	1・2号機 T/B建屋			2018/10/29	2018/10/29	2018/10/29				
	作業主管G	建築水対策グループ		監理員	TEL						
	元請会社			担当者	TEL						
	線量測定年月日	2018/10/25	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-21			
G	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
		①	②	③							
	1	配管	B	01	D	B	2 m ²	0.002 mSv/h	0.08 mSv/h	β 有	2 mSv/h
	2						m ²				
	3						m ²				
	4						m ²				
メ モ	5						m ²				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	11	—	0058
				2018/10/30
調整後保管日時		2018年11月8日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年11月8日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-111	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	配管	5 μ Sv/h	20 μ Sv/h	55 μ Sv/h	エリアW1	2018/11/8 10:15	2 m ²		ZK-01694	1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ
モ 上記保管物収納後の6m3コンテナ(ZK-01694)表面: BG=7 μ Sv/h, 表面線量率=45 μ Sv/h, $\beta + \gamma$ 線量率=45 μ Sv/h

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」・B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013109 - 0003

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年11月8日		(木)	10:00	承認	審査	作成													
	作業件名	1F港湾復旧改造工事																			
	発生場所	1F 1~4号機開渠内					2018/10/30	2018/10/30	2018/10/30												
	作業主管G	港湾土木グループ			監理員		TEL														
	元請会社				担当者		TEL														
	線量測定年月日	2018/10/29	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-97													
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率												
		①	②	③																	
		1	鋼材	B						01	D	A	0.1	m ²	8	μSv/h	60	μSv/h	$\beta \cdot \alpha$ 有	1.5	mSv/h
		2																			
		3																			
		4																			
5																					

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
廃2018	—	11	—	0059	2018/10/30
調整後保管日時		2018年11月8日		10:00	
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容				
測定日	2018年11月8日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-111	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	鋼材	5 μSv/h	50 μSv/h	150 μSv/h	エリアW1	2018/11/8 10:05	0.1 m ²		ZK-01694	1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ	上記保管物収納後の6m3コンテナ(ZK-01694)表面: BG=7 μSv/h, 表面線量率=45 μSv/h, $\beta + \gamma$ 線量率=45 μSv/h											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
				01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012602 - 0060

作業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年11月7日		(水)	9:00		承認	審査	作成		
	作業件名	2, 3号機PCVガス管理設備腐食対策工事									
	発生場所	2・3号機 T/B 2F オペフロ						2018/10/31	2018/10/31	2018/10/31	
	作業主管G	使用済燃料プール冷却グループ				監理員		TEL			
	元請会社					担当者		TEL			
	線量測定年月日	2018/10/22	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-48		
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		①	②	③							
	1	紙・ウエス類(キムタオル)	A	01	D	B	0.7 m ²	5 μSv/h	9 μSv/h	β有	80 μSv/h
	2	難燃シート類(ピンクシート)	C	02	D	B	0.5 m ²	3 μSv/h	9 μSv/h	β有	25 μSv/h
3	土砂類(スラッチ)	B	04	D	A	0.2 m ²	5 μSv/h	150 μSv/h	β有	650 μSv/h	
4	金属ガラ(番線)	B	01	D	B	0.01 m ²	5 μSv/h	6 μSv/h	無		
5	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	B	0.4 m ²	5 μSv/h	7 μSv/h	β有	20 μSv/h	
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。 β汚染有。ビニール袋二重で養生し廃棄を行う。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	11	—	0069
				2018/10/31
調整後保管日時		2018年11月7日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年11月7日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-111	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類(キムタオル)	5 μSv/h	5 μSv/h	100 μSv/h	エリアW1	2018/11/7 9:30	0.7 m ²		B0139	1
	2	1	難燃シート類(ピンクシート)	5 μSv/h	5 μSv/h	40 μSv/h	エリアW1	2018/11/7 9:30	0.5 m ²		B0139	1
	3	1	土砂類(スラッチ)	5 μSv/h	120 μSv/h	800 μSv/h	エリアW1	2018/11/7 9:30	0.2 m ²		B0139	1
	4	1	金属ガラ(番線) ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2018/11/7 9:30	0.01 m ²			1
	5	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	5 μSv/h	5 μSv/h	30 μSv/h	エリアW1	2018/11/7 9:30	0.4 m ²		B0139	1
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ 上記保管物収納後の10m3コンテナ(B0139)表面: BG=3 μSv/h, 表面線量率=40 μSv/h, β + γ 線量率=40 μSv/h												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年11月7日		(水)	10:30		承認	審査	作成		
	作業件名	セシウム吸着塔保管管理									
	発生場所	一時保管第二施設						2018/10/31	2018/10/31	2018/10/31	
	作業主管G	処理設備グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/10/30		測定者			測定器名	ICW、ICWBL		管理番号	076・108
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③							
	1	紙・ウエス類	A	01	W	B	1 m ²	0.01 mSv/h	0.1 mSv/h	β有	0.7 mSv/h
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	B	3 m ²	0.01 mSv/h	0.1 mSv/h	β有	0.7 mSv/h
	3	可燃物その他	A	04	D	B	0.5 m ²	0.01 mSv/h	0.1 mSv/h	β有	0.7 mSv/h
	4	ゴム類	C	01	D	B	0.5 m ²	0.01 mSv/h	0.1 mSv/h	β有	0.7 mSv/h
	5						m ²				
	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	11	—	0070
				2018/10/31
調整後保管日時		2018年11月7日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年11月7日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-111
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類 ③	5 μSv/h	10 μSv/h	400 μSv/h	エリアP1(屋外)	2018/11/7 10:30	1 m ²		A0195	1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類 ③	5 μSv/h	10 μSv/h	400 μSv/h	エリアP1(屋外)	2018/11/7 10:30	1 m ²		A0195	1
	3	1	可燃物その他 ③	5 μSv/h	10 μSv/h	400 μSv/h	エリアP1(屋外)	2018/11/7 10:30	1 m ²		A0195	1
	4	1	ゴム類 ③	5 μSv/h	10 μSv/h	400 μSv/h	エリアP1(屋外)	2018/11/7 10:30	0.5 m ²		A0195	1
									m ²			
	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											
	上記保管物収納後の10m3コンテナ(A0195)表面: BG=3 μSv/h, 表面線量率=35 μSv/h, β+γ線量率=35 μSv/h											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013206 - 0012

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年11月8日		(木)	10:00	承認	審査	作成	
	作業件名	平成28年度消防設備保守点検業務委託							
	発生場所	固体廃棄物貯蔵庫					2018/10/31	2018/10/31	
	作業主管G	建築保全・総括グループ			監理員		TEL		
	元請会社				担当者		TEL		
	線量測定年月日	2018/10/5	測定者		測定器名	β、γ用電離箱		管理番号	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	
		①	②	③				β+γ 線量率	
	1	プラスチック・ビニール			A 02 D B	0.14 m ²	0.012 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	2	木材			A 03 D A	0.07 m ²	0.012 mSv/h	0.012 mSv/h	無
	3	可燃物・その他			A 04 D A	0.14 m ²	0.012 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	4	金属ガラ			B 01 D B	0.04 m ²	0.012 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	5	不燃物その他			B 10 D A	0.14 m ²	0.012 mSv/h	0.015 mSv/h	無
注:	α有、βα有の場合、α線量情報をここに記載のこと。								

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	11	—	0071
				2018/10/31
調整後保管日時		2018年11月8日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年11月8日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2		ICWBL	F1-ICWBL-111
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	プラスチック・ビニール	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/8 10:00	0.05 m ²			1
	2	1	木材	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/8 10:00	0.01 m ²			1
	3	1	可燃物・その他	2 μSv/h	4 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/8 10:00	0.05 m ²			1
	4	1	金属ガラ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2018/11/8 10:00	0.01 m ²			2
	5	1	不燃物その他②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2018/11/8 10:00	0.2 m ²			2
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012321 - 0007

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年11月8日		(木)	10:30	承認	審査	作成	
	作業件名	フランジタンク除染作業							
	発生場所	大型機器点検建屋							
	作業主管G	廃棄物計画グループ		監理員	TEL				
	元請会社			担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/10/25	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-86
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無
1	紙・ウエス類			① 01 D A	2 m ²	0.01 mSv/h	0.1 mSv/h	β 有	10 mSv/h
2	プラスチック・ホリ・ビニール類			A 02 D A	3 m ²	0.01 mSv/h	0.1 mSv/h	β 有	5 mSv/h
3					m ²				
4					m ²				
5					m ²				

注: α 有、 β α 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	11	—	0072
				2018/10/31
調整後保管日時		2018年11月8日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年11月8日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-111	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類	5 μ Sv/h	10 μ Sv/h	150 μ Sv/h	エリアW1	2018/11/8 11:10	2 m ²		ZK-01486	1
	2	1	プラスチック・ホリ・ビニール類	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	60 μ Sv/h	エリアW1	2018/11/8 11:10	3 m ²		ZK-01490	1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※ ZK-01486: BG=7 μ Sv/h, 表面線量率=400 μ Sv/h, $\beta + \gamma$ 線量率=400 μ Sv/h
 ZK-01490: BG=7 μ Sv/h, 表面線量率=7 μ Sv/h, $\beta + \gamma$ 線量率=7 μ Sv/h

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012321 - 0007

作 業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年11月8日		(木)	10:30		承認	審査	作成		
	作業件名	フランジタンク除染作業									
	発生場所	大型機器点検建屋						2018/10/31	2018/10/31	2018/10/31	
	作業主管G	廃棄物計画グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/10/25		測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-86
G 記 入 欄 メ モ	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率	
	1	紙・ウエス類	A	01	D	A	2 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	A	3 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	3						m ²				
	4						m ²				
	5						m ²				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	11	—	0073
				2018/10/31
調整後保管日時		2018年11月8日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年11月8日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/8 11:00	2.5 m ²			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/8 11:00	2.5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		E	その他	01	その他	02	その他	03	その他	04	その他	05	—
01	その他			02	その他	03	その他	04	その他	05	—		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0023

作 業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2018年11月7日	(水)	10:30	承認	審査	作成				
	作業件名	G6エリアタンクリプレイス関連工事									
	発生場所	G4南タンクエリア			2018/10/31	2018/10/31	2018/10/31				
	作業主管G	貯留設備グループ		監理員	TEL						
	元請会社			担当者	TEL						
G 記 入 欄	線量測定年月日	2018/10/29	測定者	測定器名		ICWBL	管理番号				
							F1-ICWBL-34				
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率				
		①	②	③			β・α 汚染の 有無				
							β + γ 線量率				
メ モ	1	難燃物(エフレックス)	C	04	D	B	5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2						m ²				
	3						m ²				
	4						m ²				
	5						m ²				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	11	—	0076
				2018/10/31
調整後保管日時		2018年11月7日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年11月7日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-127
2			
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	難燃物(エフレックス)(→H)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/7 10:10	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※ カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・UIS類	02 プラスチック・ポリビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	②	C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	③	D	状 態	D:乾燥, W:湿気有	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013707 - 0194

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	11	—	0077
調整後保管日時				2018年11月9日 12:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年11月9日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-111
2			
3			
4			

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年11月9日		(金)	12:00	承認	審査	作成		
	作業件名	モバイル配管除却								
	発生場所	H2エリア近傍					2018/11/1	2018/11/1	2018/11/1	
	作業主管G	処理設備グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/10/12	測定者		測定器名	F1-ICWBL-72	管理番号	F1-ICWBL-72		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		①	②	③						
	1	紙・ウエス類	A 01	W	A	1 m ²	0.005 mSv/h	0.02 mSv/h	β 有	0.03 mSv/h
	2	プラスチック・ポリ・ビニール	A 02	W	A	1 m ²	0.005 mSv/h	0.02 mSv/h	β 有	0.03 mSv/h
3	難燃物その他	G 04	D	A	3 m ²	0.005 mSv/h	0.02 mSv/h	β 有	1 mSv/h	
4	不燃物その他	B 10	W	A	1 m ²	0.005 mSv/h	0.02 mSv/h	β 有	0.03 mSv/h	
5	金属ガラ	B 01	D	A	0.5 m ²	0.01 mSv/h	0.02 mSv/h	β 有	0.05 mSv/h	

注: α 有、β α 有の場合、α 線量情報をここに記載のこと。
キャスク2個に入れたい(袋梱包で搬入予定)

保管 実績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類	5 μSv/h	10 μSv/h	20 μSv/h	エリアW1	2018/11/9 11:55	0.5 m ²		ZK-01490	1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール	5 μSv/h	10 μSv/h	20 μSv/h	エリアW1	2018/11/9 11:55	0.5 m ²		ZK-01490	1
	4	1	不燃物その他	5 μSv/h	10 μSv/h	20 μSv/h	エリアW1	2018/11/9 11:55	2 m ²		ZK-01737	1
	5	1	金属ガラ	5 μSv/h	10 μSv/h	30 μSv/h	エリアW1	2018/11/9 11:55	3 m ²		ZK-01737	1
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ
モ ZK-01490表面: BG=7 μSv/h, 表面線量率=7 μSv/h, β + γ 線量率=7 μSv/h
ZK-01737表面: BG=7 μSv/h, 表面線量率=7 μSv/h, β + γ 線量率=7 μSv/h

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6012601 - 0031	
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年11月8日		(木)	11:30		承認	審査	作成		
	作業件名	バッファタンク取替関連除却工事									
	発生場所	2号機 CSTタンク						2018/11/1	2018/11/1	2018/11/1	
	作業主管G	原子炉冷却グループ				監理員			TEL		
	元請会社					担当者			TEL		
	線量測定年月日	2018/9/7		測定者			測定器名	電離箱式サーベイメータ		管理番号	F1-ICWBL-59
	No.	保管物名				※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
	1	電工ドラム				B 01 D B	0.1 m ²	5 μSv/h	0.02 μSv/h	無	
	2	掃除機ホース				A 02 D B	0.1 m ²	5 μSv/h	0.02 μSv/h	無	
	3	掃除機ケーブル				B 08 D B	0.1 m ²	5 μSv/h	0.02 μSv/h	無	
4	掃除機本体				B 10 D B	0.5 m ²	5 μSv/h	0.02 μSv/h	無		
5						m ²					
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。											

線量測定内容				
測定日	2018年11月8日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-111	
2		ICW	F1-ICW-158	
3				
4				

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	電工ドラム ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2018/11/8 11:15	0.1 m ²			1
	2	1	掃除機ホース	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/8 11:30	0.1 m ²			2
	3	1	掃除機ケーブル ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2018/11/8 11:15	0.1 m ²			1
	4	1	掃除機本体 ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2018/11/8 11:15	0.2 m ²			1
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—		
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—		
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類		
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他		
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—		
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—		
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							
		注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)													
		注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。													
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。															

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6015602 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年11月7日		(水)	11:30		承認	審査	作成		
	作業件名	1F-1~4号機 サブドレン浄化用フィルタ交換他業務委託(H30)									
	発生場所	サブドレン他浄化設備						2018/11/1	2018/11/1	2018/10/31	
	作業主管G	水処理計画グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/10/23		測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-110
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③							
	1	紙・ウエス類	A	01	D	B	3 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	B	1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	3						m ²				
	4						m ²				
	5						m ²				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	11	—	0079
				2018/11/1
調整後保管日時		2018年11月7日		11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年11月7日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/7 11:30	3.2 m ²			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/7 11:30	1.2 m ²			1
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		E	その他	01	その他	02	その他	03	その他	04	その他	05	—
01	その他			02	その他	03	その他	04	その他	05	—		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013107 - 0007

作業 主 管 入 欄	保管希望日時	2018年11月8日		(木)	9:00		承認	審査	作成	
	作業件名	構内排水路浄化剤取替業務委託(平成30年度)								
	発生場所	K排水路						2018/11/1	2018/11/1	2018/11/1
	作業主管G	土木保全・総括グループ				監理員			TEL	
	元請会社					担当者			TEL	
	線量測定年月日	2018/10/25	測定者			測定器名	F1-ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-97
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
			①	②	③					
1	可燃物その他	A	04	W	B	1 m ²	0.009 mSv/h	0.15 mSv/h	β有	1 mSv/h
2	紙・ウエス類	A	01	W	B	1 m ²	0.009 mSv/h	0.02 mSv/h	β有	0.1 mSv/h
3	難燃シート類	C	02	W	B	1 m ²	0.009 mSv/h	0.02 mSv/h	β有	0.1 mSv/h
4						m ²				
5						m ²				
×	注: α有、β有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									
モ										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	11	—	0080
調整後保管日時				2018年11月8日 9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年11月8日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-111	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物その他	5 μSv/h	200 μSv/h	700 μSv/h	エリアW1	2018/11/8 9:00	0.5 m ²		ZK-01486	1
	2	1	紙・ウエス類	5 μSv/h	100 μSv/h	600 μSv/h	エリアW1	2018/11/8 9:00	0.1 m ²		ZK-01486	1
	3	1	難燃シート類	5 μSv/h	40 μSv/h	120 μSv/h	エリアW1	2018/11/8 9:00	0.1 m ²		ZK-01486	1
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載。												
×	上記保管物収納後の6m3コンテナ(ZK-01486)表面: BG=7 μSv/h, 表面線量率=400 μSv/h, β + γ線量率=400 μSv/h											
モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013706 - 0018

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年11月7日		(水)	9:30		承認	審査	作成		
	作業件名	1F-1~4号機 T/B油処理装置設置									
	発生場所	5号機ヤード CD薬液タンク周り						2018/11/2	2018/11/2	2018/11/2	
	作業主管G	地下水対策グループ				監理員		TEL			
	元請会社					担当者		TEL			
	線量測定年月日	2018/10/31		測定者		測定器名	電離箱		管理番号	F1-ICWBL-10B	
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③							
	1	不燃物(金属入り補強ホース・フィルター・防炎シート)	B	10	D	B	0.5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2	金属ガラ(配管類・塗料缶)	B	01	D	B	0.1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	3	機器類(バンドソー・ポンプ)	B	03	D	B	0.1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	4	塩ビパイプ	B	05	D	B	0.1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	5						m ²				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	11	—	0081
				2018/11/2
調整後保管日時		2018年11月7日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年11月7日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-111	
2		ICWBL	F1-ICWBL-127	
3				
4				

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃物(金属入り補強ホース・フィルター・防炎シート)②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアPI(屋外)	2018/11/7 9:15	1 m ²			1
	2	1	金属ガラ(配管類・塗料缶)②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアPI(屋外)	2018/11/7 9:15	0.1 m ²			1
	3	1	機器類(バンドソー・ポンプ)②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアPI(屋外)	2018/11/7 9:15	0.1 m ²			1
	4	1	塩ビパイプ	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/7 9:30	0.1 m ²			2
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
	②	C	難 燃 物	11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
				01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —

② 状 態 D:乾燥, W:湿気有 ③ 履 歴 A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013109 - 0003

作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年11月9日		(金)	10:00		承認	審査	作成	
	作業件名	1F港湾復旧改造工事								
	発生場所	1F 1~4号機開渠内						2018/11/1	2018/11/1	2018/11/1
	作業主管G	港湾土木グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2018/10/29	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-97		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	鋼材	B	01	D	A	3 m ²	8 μ Sv/h	60 μ Sv/h	無
2						m ²				
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
廃2018	—	11	—	0086	2018/11/2
調整後保管日時		2018年11月9日		10:00	
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容			
測定日	2018年11月9日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-111
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	鋼材②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2018/11/9 10:05	2 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013110 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年11月9日		(金)	8:30	承認	審査	作成		
	作業件名	分析・研究施設設置に伴う敷地造成工事								
	発生場所	1F構外西側道路周辺					2018/11/2	2018/11/2	2018/11/2	
	作業主管G	トレンチ対策グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2018/11/1	測定者		測定器名	SC	管理番号	F1-SC-140		
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
1	コンクリートガラ	B	02	W	A	5 m ²	1 μ Sv/h	2 μ Sv/h	無	
2						m ²				
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
注: α 有、 β α 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	—	11	—	0087
調整後保管日時				2018年11月9日 8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年11月9日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-042	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/11/9 8:45	4 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	10	—
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13	—	15	—
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013110 - 0001

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	11	—	0088
				2018/11/2
調整後保管日時		2018年11月9日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年11月9日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-042	
2				
3				
4				

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年11月9日		(金)	11:00	承認	審査	作成		
	作業件名	分析・研究施設設置に伴う敷地造成工事								
	発生場所	1F構外西側道路周辺				2018/11/2	2018/11/2	2018/11/2		
	作業主管G	トレンチ対策グループ		監理員		TEL				
	元請会社			担当者		TEL				
	線量測定年月日	2018/11/1	測定者		測定器名	SC	管理番号	F1-SC-140		
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
			①	②	③					
	1	アスファルトガラ	B	09	W	A	3 m ²	1 μ Sv/h	2 μ Sv/h	無
	2						m ²			
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
注: α 有、 $\beta + \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	アスファルトガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/11/9 10:45	4 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6015204 - 0001

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年11月8日	(木)	11:00	承認	審査	作成				
	作業件名	2018年工事用重機・車両の管理・運用委託									
	発生場所	スラッジャード			2018/11/2	2018/11/2	2018/11/2				
	作業主管G	保全計画グループ		監理員	TEL						
	元請会社			担当者	TEL						
	線量測定年月日	2018/10/31	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号 1F-ICWBL-98				
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
	1	木材	A	03	D	B	3 m ³	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
	2						m ³				
	3						m ³				
	4						m ³				
	5						m ³				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	11	—	0090
				2018/11/2
調整後保管日時		2018年11月8日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年11月8日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-158	
2				
3				
4				

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	木材	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/8 11:00	3 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6015204 - 0001

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	11	—	0091
				2018/11/2
調整後保管日時		2018年11月9日		12:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年11月9日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-111
2			
3			
4			

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年11月9日		(金)	12:30	承認	審査	作成			
	作業件名	2018年工事用重機・車両の管理・運用委託									
	発生場所	スラッジャード					2018/11/2	2018/11/2	2018/11/2		
	作業主管G	保全計画グループ			監理員		TEL				
	元請会社				担当者		TEL				
	線量測定年月日	2018/10/31	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	1F-ICWBL-98			
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率		
	1	金属ガラ	B	01	D	B	4 m ²	0.003 mSv/h	0.2 mSv/h	β有	0.5 mSv/h
	2	不燃物その他	B	10	D	B	2 m ²	0.003 mSv/h	0.1 mSv/h	β有	1.2 mSv/h
	3						m ²				
4						m ²					
5						m ²					

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ	5 μSv/h	10 μSv/h	30 μSv/h	エリアW1	2018/11/9 11:50	4 m ²		ZK-01694	1
	2	1	不燃物その他	5 μSv/h	10 μSv/h	30 μSv/h	エリアW1	2018/11/9 11:50	2 m ²		ZK-01694	1
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

上記保管物収納後の6m3コンテナ(ZK-01694)表面: BG=7 μSv/h, 表面線量率=45 μSv/h, β+γ線量率=45 μSv/h

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013102 - 0002

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2018年11月7日	(水)	12:00	承認	審査	作成			
	作業件名	土捨場北側土地造成工事								
	発生場所	1F 土捨場北側土地造成工事エリア内(GM-06 東)			2018/11/2	2018/11/2	2018/11/2			
	作業主管G	廃棄物基盤グループ		監理員	TEL					
	元請会社			担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/10/31	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号			
							F1-ICWBL-74			
G 記 入 欄 メ モ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③						
	1	金属がら	B	01	D	A	5 m ²	3 μSv/h	3 μSv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
	4						m ²			
5						m ²				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	11	—	0092
				2018/11/5
調整後保管日時		2018年11月7日		12:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年11月7日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-111
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属がら②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2018/11/7 12:00	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013102 ~ 0002

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年11月8日		(木)	9:00	承認	審査	作成		
	作業件名	土捨場北側土地造成工事								
	発生場所	1F 土捨場北側土地造成工事エリア内(GM-06 東)					2018/11/2	2018/11/2		
	作業主管 G	廃棄物基盤グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2018/10/31	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-74		
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
	1	金属がら			① ② ③	5 m ³	3 μSv/h	3 μSv/h	無	
	2					m ³				
	3					m ³				
	4					m ³				
	5					m ³				
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	—	11	—	0093
				2018/11/5
調整後保管日時		2018年11月8日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年11月8日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-111
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属がら ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2018/11/8 8:40	3 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013102 - 0002

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	11	—	0094
				2018/11/5
調整後保管日時		2018年11月9日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年11月9日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-127
2			
3			
4			

作業 主 管 G 記 入 欄 × モ	保管希望日時	2018年11月9日		(金)	9:00	承認	審査	作成		
	作業件名	土捨場北側土地造成工事								
	発生場所	1F 土捨場北側土地造成工事エリア内(GM-06 東)					2018/11/2	2018/11/2	2018/11/2	
	作業主管G	廃棄物基盤グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2018/10/31	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-74		
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率	
	1	塩化ビニール管	B	05	D	A	3 m ²	3 μSv/h	3 μSv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
4						m ²				
5						m ²				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

保管 実績 記入 欄 × モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	塩化ビニール管 (→H)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/9 12:10	0.1 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
× モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	②	C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	③	D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013102 - 0002

作 業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2018年11月9日		(金)	9:00	承認	審査	作成		
	作業件名	土捨場北側土地造成工事								
	発生場所	1F 土捨場北側土地造成工事エリア内(GM-06 東)					2018/11/2	2018/11/2	2018/11/2	
	作業主管G	廃棄物基盤グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2018/10/31	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-74		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
1	伐採木(根)	D	01	D	A	5 m ³	3 μ Sv/h	3 μ Sv/h	無	
2						m ³				
3						m ³				
4						m ³				
5						m ³				
注: α 有、 $\beta + \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	11	—	0095
調整後保管日時				2018年11月9日 9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	伐採木(根)				エリアG(幹・根)	2018/11/9 9:00	5 m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—		
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—		
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類		
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他		
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—		
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—		
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—		
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0016

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年11月8日		(木)	8:00	承認	審査	作成						
	作業件名	G6エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事												
	発生場所	G6エリア					2018/11/2	2018/11/2	2018/11/2					
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員		TEL							
	元請会社				担当者		TEL							
	線量測定年月日	2018/11/1	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	T-ICWBL-04						
G	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率					
		①	②	③										
	1	不燃ゴミ	B	10	D	B	2	m ³	0.02	mSv/h	0.02	mSv/h	無	
	2	金属ゴミ	B	01	D	B	1	m ³	0.02	mSv/h	0.02	mSv/h	無	
	3	ケーブル	B	08	D	B	1	m ³	0.02	mSv/h	0.02	mSv/h	無	
	4	塩ビ管	B	05	D	B	1	m ³	0.02	mSv/h	0.02	mSv/h	無	
5							m ³							
メ モ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。 瓦礫に関する連絡は、 までお願いします。													

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	11	—	0098
				2018/11/5
調整後保管日時		2018年11月8日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年11月8日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-111
2		ICW	F1-ICW-158
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	2	1	金属ゴミ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP(屋外)	2018/11/8 8:35	2 m ³			1
	3	1	ケーブル②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP(屋外)	2018/11/8 8:35	1 m ³			1
	4	1	塩ビ管	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/8 8:20	0.6 m ³			2
									m ³			
メ モ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0016

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	11	—	0099
				2018/11/5
調整後保管日時		2018年11月9日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年11月9日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-111
2		ICWBL	F1-ICWBL-127
3			
4			

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年11月9日		(金)	8:00	承認	審査	作成			
	作業件名	G6エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事									
	発生場所	G6エリア			2018/11/2	2018/11/2	2018/11/2				
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員	TEL					
	元請会社				担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/11/1	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	T-ICWBL-04			
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
	1	不燃ゴミ	B	10	D	B	1 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
	2	金属ゴミ	B	01	D	B	2 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
	3	ケーブル	B	08	D	B	1 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
4	塩ビ管	B	05	D	B	1 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無		
5						m ²					

注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。
瓦礫に関する連絡は、 までお願いします。

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃ゴミ②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2018/11/9 8:35	3 m ²			1
	2	1	金属ゴミ②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2018/11/9 8:35	1 m ²			1
	3	1	ケーブル②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2018/11/9 8:35	0.1 m ²			1
	4	1	塩ビ管(→H)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/9 8:00	0.1 m ²			2
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013112 - 0005

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	11	—	0100
				2018/11/5
調整後保管日時		2018年11月9日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年11月9日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-111
2			
3			
4			

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年11月9日		(金)	8:00	承認	審査	作成		
	作業件名	H1, 2エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事								
	発生場所	残Co処理エリア								
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員		TEL				
	元請会社			担当者		TEL				
	線量測定年月日	2018/10/31	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	T-ICWBL-04		
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率		
	1	コンクリートガラ	B	02	D	B	10 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
4						m ²				
5						m ²				
メモ	10tダンプ(5m3分)×2台=10m3 コンクリートガラ搬出いたします。									

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/11/9 8:00	3 m ²			1
	1	2	コンクリートガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/11/9 8:25	3 m ²			1
	1	3	コンクリートガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/11/9 8:50	3 m ²			1
	1	4	コンクリートガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/11/9 9:20	3 m ²			1
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0028

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	11	—	0101
				2018/11/5
調整後保管日時		2018年11月9日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年11月9日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-111
2			
3			
4			

作業主管理G記入欄メモ	保管希望日時	2018年11月9日		(金)	11:00	承認	審査	作成		
	作業件名	G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	G4南エリア					2018/11/2	2018/11/1	2018/11/1	
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2018/10/30	測定者		測定器名	βγ用電離箱		管理番号	1F-ICWBL-39	
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
	1	金属ガラ		B 01	D A	5 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
	2					m ²				
	3					m ²				
4					m ²					
5					m ²					
4tユニック車1台										

保管実績記入欄メモ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアPI(屋外)	2018/11/9 10:40	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0028

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	11	—	0103
				2018/11/5
調整後保管日時		2018年11月9日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年11月9日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-111
2			
3			
4			

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年11月9日		(金)	10:00	承認	審査	作成
	作業件名	G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事						
	発生場所	G4南エリア				2018/11/5	2018/11/1	2018/11/1
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員		TEL		
	元請会社			担当者		TEL		
	線量測定年月日	2018/10/30	測定者		測定器名	βγ用電離箱		管理番号
						1F-ICWBL-39		
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率
				①	②	③		β・α 汚染の有無
	1	金属ガラ	B	01	D	A	5 m ²	0.002 mSv/h
2						m ²		
3						m ²		
4						m ²		
5						m ²		
メモ	4tユニック車1台							

保管 実績 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2018/11/9 9:05	4 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリー	A	可燃物	01 紙・ウェス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
			06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
	B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
			06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
			11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
			01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
			01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこ。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012802 - 0008

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年11月8日		(木)	9:30	承認	審査	作成		
	作業件名	焼却設備炉関係定期点検工事【定例】								
	発生場所	雑個体焼却設備建屋					2018/11/2	2018/11/2	2018/11/2	
	作業主管G	廃棄物設備グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2018/11/2	測定者		測定器名	ICW	管理番号	リ-ICW-310		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		①	②	③						
1	金属ガラ	B	01	D	A	0.3 m ²	0.2 μSv/h	0.2 μSv/h	無	
2						m ²				
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
廃2018	—	11	—	0106	2018/11/5
調整後保管日時		2018年11月8日		9:30	
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容				
測定日	2018年11月8日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-042	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアPI(屋外)	2018/11/8 9:30	0.1 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテゴリ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	②	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	③	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6015203 - 0001

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年11月8日		(木)	12:30	承認	審査	作成			
	作業件名	構内所在不明物品の片付け業務委託3期									
	発生場所	5, 6仮置き場(5, 6号開閉所北側)					2018/11/5	2018/11/5			
	作業主管G	工事基盤整備グループ			監理員		TEL				
	元請会社				担当者		TEL				
	線量測定年月日	2018/11/5	測定者		測定器名	ICWBL		管理番号			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無			
		①	②	③				β + γ 線量率			
	1	不燃物その他	B	10	D	A	18 m ²	0.004 mSv/h	0.004 mSv/h	β 有	0.015 mSv/h
	2						m ²				
	3						m ²				
	4						m ²				
	5						m ²				
メ モ	注: α 有、β α 有の場合、α 線量情報をここに記載のこと。 6m3コンテナ3基										

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
廃2018	—	11	—	0107	2018/11/5
調整後保管日時		2018年11月8日		12:30	
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容				
測定日	2018年11月8日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-111	
2				
3				
4				

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	6m3コンテナ(No.ZK-01728)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	固体庫9棟地上1階	2018/11/8 11:35	6 m ²		ZK-01728	1
	1	2	6m3コンテナ(No.ZK-01723)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	固体庫9棟地上1階	2018/11/8 11:35	6 m ²		ZK-01723	1
	1	3	6m3コンテナ(No.ZK-01689)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	固体庫9棟地上1階	2018/11/8 11:35	6 m ²		ZK-01689	1
									m ²			
メ モ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											
	上記の保管物は6m3コンテナ3基に分けて収納。											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		E	燃 料	01	石油類	02	石炭類	03	木質類	04	その他	05	—
01	石油類			02	石炭類	03	木質類	04	その他	05	—		
F	燃 料	01	石油類	02	石炭類	03	木質類	04	その他	05	—		
		01	石油類	02	石炭類	03	木質類	04	その他	05	—		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0023

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年11月8日		(木)	9:30	承認	審査	作成	
	作業件名	G6エリアタンクリプレイス関連工事							
	発生場所	H4東側仮置き場					2018/11/5	2018/11/5	2018/11/5
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員		TEL		
	元請会社				担当者		TEL		
	線量測定年月日	2018/10/2	測定者		測定器名	電離箱	管理番号	F1-ICWBL-140	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
		①	②	③					
	1 紙	A	01	D	B	0.5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	2 ビニール袋・ビニールシート・プラスチック・インシュロック	A	02	D	B	0.1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	3 トンパック・ガムテープ・ロープ・安全帯ベルト	A	04	D	B	0.1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	4 コーキング材・皮手袋・パウチ	A	04	D	B	0.1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	5 塩化ビニール類	B	05	D	B	0.1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。								

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	11	—	0109
				2018/11/6
調整後保管日時		2018年11月8日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年11月8日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/8 9:20	0.05 m ²			1
	2	1	ビニール袋・ビニールシート・プラスチック・インシュロック	2 μSv/h	12 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/8 9:20	0.3 m ²			1
	3	1	トンパック・ガムテープ・ロープ・安全帯ベルト	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/8 9:20	0.3 m ²			1
	4	1	コーキング材・皮手袋・パウチ	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/8 9:20	0.1 m ²			1
	5	1	塩化ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/8 9:20	0.2 m ²			1
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。													

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0023

作業 主 管 欄	保管希望日時	2018年11月9日		(金)	9:30	承認	審査	作成		
	作業件名	G6エリアタンクプレイス関連工事								
	発生場所	H4東側仮置き場					2018/11/5	2018/11/5	2018/11/5	
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2018/10/2	測定者		測定器名	電離箱	管理番号	F1-ICWBL-140		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
1	紙・ウエス	A	01	D	B	0.1 m ²	0.01 mSv/h	0.075 mSv/h	β有	0.3 mSv/h
2	ビニール袋	A	02	D	B	0.5 m ²	0.01 mSv/h	0.035 mSv/h	β有	1 mSv/h
3	吸着マット・ケミカル袋	A	04	D	B	0.1 m ²	0.01 mSv/h	0.02 mSv/h	β有	0.045 mSv/h
4	安全帯ベルト・ガムテープ	A	04	D	B	0.1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	β有	0.03 mSv/h
5						m ²				

注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	11	—	0110
				2018/11/6
調整後保管日時		2018年11月9日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年11月9日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-111
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h			m ²	m ²			
1	1	紙・ウエス	5	μ Sv/h	60	μ Sv/h	250	μ Sv/h	エリアW1	2018/11/9 9:45	0.1	m ²		ZK-01490	1	
2	1	ビニール袋	5	μ Sv/h	40	μ Sv/h	350	μ Sv/h	エリアW1	2018/11/9 9:45	0.5	m ²		ZK-01490	1	
3	1	吸着マット・ケミカル袋	5	μ Sv/h	20	μ Sv/h	50	μ Sv/h	エリアW1	2018/11/9 9:45	0.1	m ²		ZK-01490	1	
4	1	安全帯ベルト・ガムテープ	5	μ Sv/h	20	μ Sv/h	40	μ Sv/h	エリアW1	2018/11/9 9:45	0.1	m ²		ZK-01490	1	
												m ²				

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ
モ
ZK-01490表面: BG=7 μ Sv/h, 表面線量率=7 μ Sv/h, β + γ 線量率=7 μ Sv/h

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木	02 伐採木(幹・根)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0010

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年11月9日		(金)	9:30	承認	審査	作成		
	作業件名	H5エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	H6タンクエリア					2018/11/6	2018/11/5	2018/11/5	
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2018/11/1	測定者		測定器名	ICW-BL	管理番号	1F-ICWBL-14		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
	1	金属ガラ	B	01	D	B	8 m ²	20 μSv/h	30 μSv/h	無
2						m ²				
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
大型2台										

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
廃2018	—	11	—	0114	2018/11/6
調整後保管日時		2018年11月9日		9:30	
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容				
測定日	2018年11月9日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-111	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2018/11/9 9:25	4 m ²			1
	1	2	金属ガラ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2018/11/9 10:20	4 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013803 - 0011		
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年11月9日		(金)	9:00		承認	審査	作成			
	作業件名	H6エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事										
	発生場所	H6タンクエリア						2018/11/6	2018/11/6	2018/11/6		
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員			TEL			
	元請会社					担当者			TEL			
	線量測定年月日	2018/10/30	測定者			測定器名	ICW-BL		管理番号	1F-ICWBL-14		
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率		
	1	金属ガラ	B	01	D	A	8 m ³	10 μSv/h	0.2 mSv/h	β 有	1 mSv/h	
	2	不燃物その他	B	10	D	A	10 m ³	10 μSv/h	0.2 mSv/h	β 有	1 mSv/h	
	3						m ³					
4						m ³						
5						m ³						
メ モ	キャスクNo.123 No.125 No.126											

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
廃2018	—	11	—	0116	2018/11/6
調整後保管日時		2018年11月9日		9:00	
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容				
測定日	2018年11月9日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-111	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	2	6m3コンテナ(No.ZK-01616)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	固体庫9棟地上1階	2018/11/9 8:55	6 m ³		ZK-01616	1
	1	3	6m3コンテナ(No.ZK-01621)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	固体庫9棟地上1階	2018/11/9 8:55	6 m ³		ZK-01621	1
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ
モ
上記の保管物は6m3コンテナ3基に分けて収納。

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類		
		06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他		
		11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —		
		01 難燃物	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —		
D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —		
		01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —		
②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0011

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年11月9日		(金)	12:30	承認	審査	作成		
	作業件名	H6エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	H6タンクエリア					2018/11/6	2018/11/6	2018/11/6	
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2018/10/30	測定者		測定器名	ICW-BL	管理番号	1F-ICWBL-14		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③						
1	金属ガラ	B	01	D	A	4 m ²	10 μSv/h	0.2 mSv/h	β有	1 mSv/h
2	不燃物その他	B	10	D	A	14 m ²	10 μSv/h	0.2 mSv/h	β有	1 mSv/h
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
メモ	キャスクNo.118 No.120 No.124									

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
廃2018	—	11	—	0117	2018/11/6
調整後保管日時		2018年11月9日		12:30	
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容				
測定日	2018年11月9日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-111	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	6m3コンテナ(No.ZK-01629)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	固体庫9棟地上1階	2018/11/9 11:40	6 m ²		ZK-01629	1
	1	2	6m3コンテナ(No.ZK-01628)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	固体庫9棟地上1階	2018/11/9 11:40	6 m ²		ZK-01628	1
	1	3	6m3コンテナ(No.ZK-01615)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	固体庫9棟地上1階	2018/11/9 11:40	6 m ²		ZK-01615	1
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ 上記の保管物は6m3コンテナ3基に分けて収納。

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。